

哲學研究

第 二 十 九 卷 第 五 冊

第 三 百 三 十 八 號

昭 和 十 九 年 五 月 一 日 發 行

現 實 存 在 と 我 汝 の 双 歡 …………… 田 中 熙

美 的 自 律 性 の 藝 術 史 的 展 開 …………… 小 川 長 成
後 篇 — 美 的 自 律 性 の 自 覺

京 都 帝 國 大 學 文 學 部 內 部
京 都 哲 學 會

的原理性によりて美的理念そのものの構造に於いて（視覺的自然の光芒に即して直觀されたニムブスなる理念）注目された描寫對象として、中世ニムブスからは區別されてルネッサンス・ニムブスと共に近世ニムブス以外のものではない。聖像を彼岸的な榮光の中に浮ばせた中世ニムブスをそれぞれの作風を自律的方式として産出せる自律的な中世視覺性から、光りの自然の視覺的深奥を凝視して不思議な魔力的な光芒ニムブスの流出の中にキリストを現出せしめたレムブランドの逞しき視覺性への展開は、正に視覺性のそれぞれの美的コスモスに於ける自律的原理性を藝術史的に可能ならしめた中世的遠近法から近世的遠近法への展開である。美的自律性は作風・遠近法の歴史に藝術史的展開をもつのである。（完）

彙報

倫理學研究會

七月十五日（土）午後六時 樂友會館

・沙石集の思想

室川泰一氏

寄贈雜誌

四月號 基督教研究(廿一ノ一)・Tohoku Psychological Folia, Tom XI, 1-2, 建國大學研究院月報・文化・1, 五月號 文化、一橋論叢、法學、回教週報、哲學雜誌(五・六月)

前 號 目 次

支那に於ける文藝復興論と經學	重澤俊郎
美的自律性の藝術史的展開	小川長成
前篇「宗教藝術の美的自律性」	
ヘーゲル哲學の根本問題に就ての省察(完)	田泰治
「現實の論理」第二部	

會 告

- 一 本會へ入會希望者へ京都市田中西浦町弘文堂書房
内京都哲學會宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納
付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務
へ弘文堂書房内京都哲學會へ御通知被下度候
- 一 會費へ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」
宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合へ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致ス
ベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌
等へ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都帝國大學 京都哲學會
文學部 内

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する
件は「弘文堂書房」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵税共前金にて御送り
下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券四錢
御送付下され度候

昭和十九年四月廿五日印刷納本
昭和十九年五月一日發行

編輯者 京都哲學會
京都帝國大學文學部内

右代表者 澤 瀉 久 敬

發行兼印刷者 八坂 淺太郎
京都市田中西浦町四〇

印刷所(西京二区)弘文堂印刷部
京都市田中西浦町四〇

配給元 日本出版配給株式會社
東京都神田區波路町二ノ九

發行所 弘文堂書房
京都市左京區田中西浦町四〇
電話 上二〇〇九番

定 價		冊 數		定 價		郵 税	
一册	金四十五錢	金	二錢	六册(前金)	金二圓半錢	不	申受
三册(前金)	金五圓半錢	不	申受	三册(前金)	金五圓半錢	不	申受

特別行爲稅相當額五錢